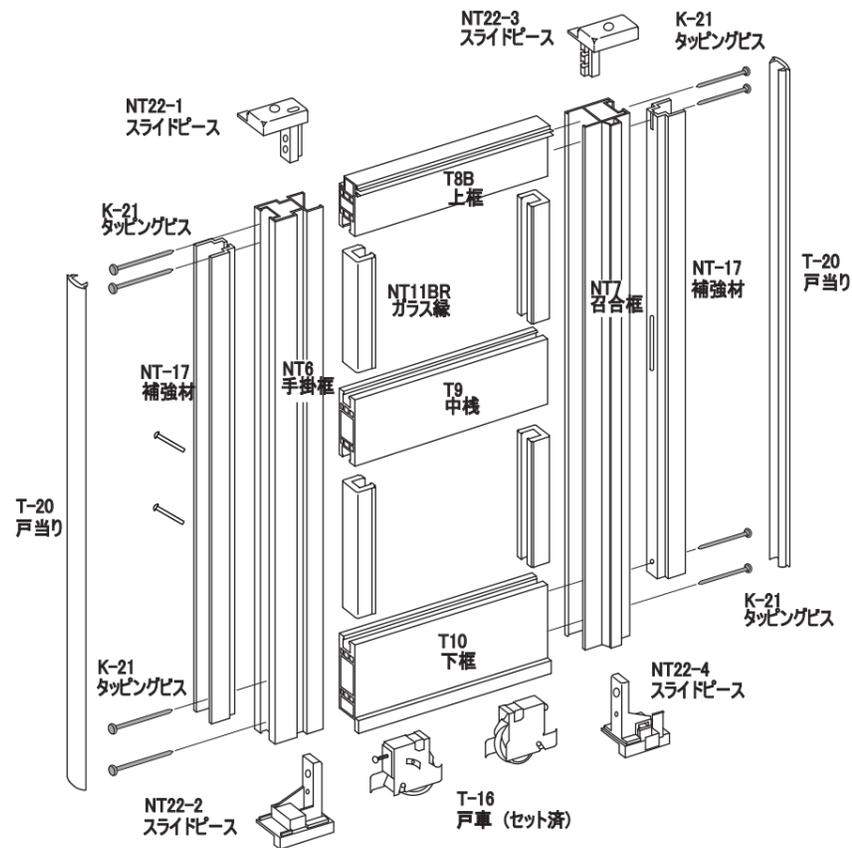


PLAST 障子組立手順書 (NT, NTR, HT型)

※ 本説明書は左障子(内観)で説明しております。

NT型(単板ガラス仕様)左障子組立図



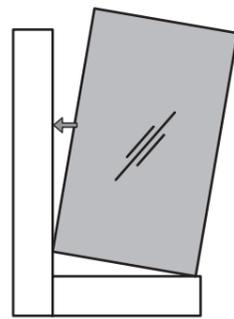
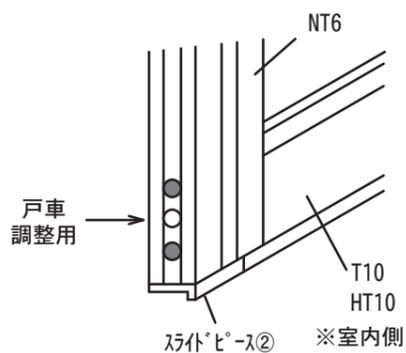
! 補強材は、縦枠の中に入れて出荷しております。輸送時は、抜け止め用の棒をビス穴にさしてあります。これを抜いてから組立を行ってください。
※ 開口H1000mm未満の製品には補強材は入っていません。

1 ガラスの4周にグレチャンを巻きつけます。

2 NT, HT型の場合

ガラス縁(NT11BR)を入れた手掛框(NT6)にスライドピース②と補強材を入れ、下框(T10, HT10)に対し、ビスで共締めをします。ビスの止め位置は、1番下と下から3番目です。框をL字に組んだところに、グレチャンを巻いたガラスを入れます。

※ HT型は、下框(HT10)にもガラス縁(NT11BR)を入れて障子を組んで下さい。



NTR型の場合

ガラス縁(NT11BR)を入れた手掛框(NT6)にスライドピース②と補強材を入れ、下框(NTR10)に対し、ビスで共締めをします。ビスの止め位置は、下から2番目です。ガラスはNT型のとくと同様に入れます。

- !** 下框に戸車がセットされていることを確認してください。
- !** スライドピースと下框の向きを合わせて組み立て下さい。

3 中棧(T9)のある場合

中棧(T9)がある仕様では、下からガラスを組み込み、中棧を入れてビス止めをして下さい。その後、上のガラスを組み込んで下さい。

- !** 巾の広い障子には中棧用補強材が付く場合があります。(開口W2500以上2枚引違いの場合)その時はこれを必ず入れて下さい。

4 召合せ框(NT7)に補強材、スライドピース④を組み込み、ビス止めをします。

5 上框(T8B, T8, HT8)とスライドピース①を組み込み、ビス止めをします。

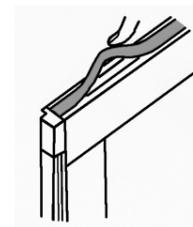
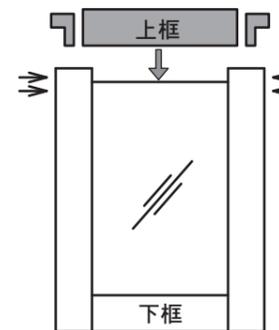
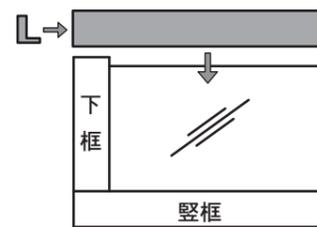
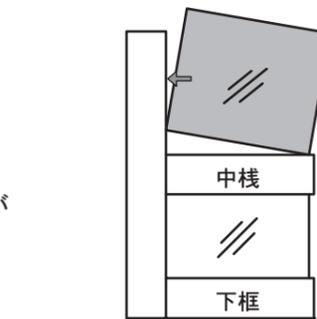
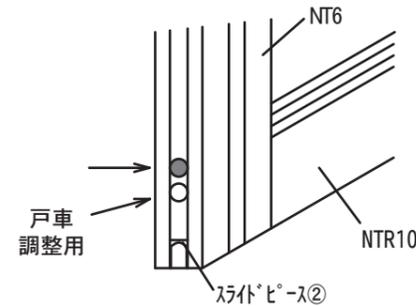
※ HT型は、上框(HT8)にもガラス縁(NT11BR)を入れて障子を組んで下さい。

6 障子に戸当り(T-20)を入れて完成です。

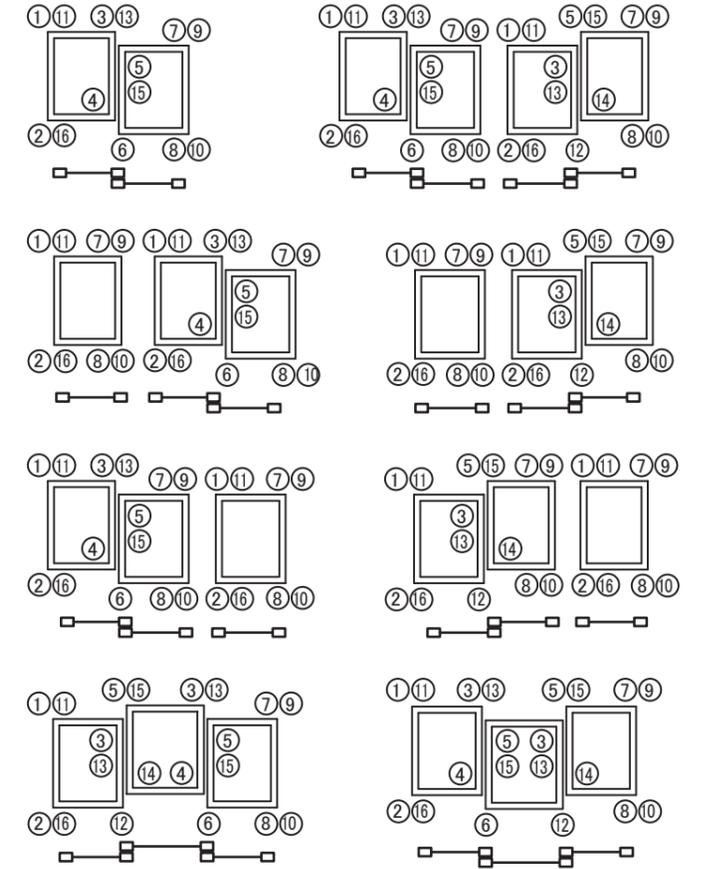
- !** 戸当りは余尺をつけて切り、押し込んでください。
- !** 4枚引の突合せ部には突合せ部用戸当りT-41を入れてください。

7 残りの障子も同様に組み立てて下さい。スライドピースの使い方は右図をご参照下さい。

- ⊘** NT, HT型の召合せ下部に使用するスライドピースには、構造上スプリングを内蔵しております。これを破損しますと、性能に影響を及ぼす恐れがあります。特に搬送の時や建込みの時に、破損しないよう注意してください。



NT, HT型 障子の組立・スライドピースの配置



NTR型障子の組立・スライドピースの配置

